

のれんの要素分解に関する演習問題

P社は2006年3月31日にS社株式の80%を4,800で取得し、S社支配権を獲得した。
この時のS社の財政状態は次のとおりであった。

諸資産 簿価 6,200 時価 6,900 諸負債 簿価 2,800 (時価も簿価と同額)
資本金 1,200 利益剰余金 2,000

なお、P社の買収情報が市場に流れる前の2006年3月31日現在のS社株式の市場価格総額は5,000であった。

この時、全部のれん方式による全面時価評価法を採用するとしたら、2006年3月末の連結決算時において、①少数株主持分に対応するのれん、②親会社持分に対応するのれんに含まれる支配権プレミアムはどれだけになるか。計算式を示して解答せよ。

①少数株主持分に対応するのれん

$$5,000 \times 0.2 - (1,200 + 2,200 + 700) = 820$$

②親会社持分に対応するのれんに含まれる支配権プレミアム

$$\begin{aligned} \text{支配権プレミアム} &= \text{P社が支払った対価} - \text{親会社持分に対応するS社の市場価額} - \\ &= 4,800 - 5,000 \times 0.8 \\ &= 800 \end{aligned}$$

(参考) この場合ののれんを要素分解すると次のようになる。

支配権プレミアム (800)	
市場の平均的期待に基づくのれん (720)	同左 (180)
S社の識別可能な純資産の公正価値 (3,280)	同左 (820)
親会社持分に対応する部分	少数株主持分に対応する部分